



●^{ひらかた}枚方市駅周辺開発、計画変更。しかし市役所移転を変えず

【枚方市駅周辺】昨年九月二六日に枚方市駅近くにあつた枚方市庁舎移転に関して移転条例が否決された(「区画・再開発通信」二二年一〇月号各地欄)。ところがこの三月に市がパブリックコメント募集に際し発表した「枚方市駅周辺再整備基本計画」(改訂案)では、依然、市役所移転計画をそのまま前提にしている問題になっている。

さる三月一八日、地元の市民団体

(新建築家技術者集団大阪支部作成。枚方市駅は②街区の左上あたり)



でつくる「枚方のまちづくりを考える市民ネットワーク」主催で「緊急学習会」(会場とオンライン併用)が開かれ、新建築家技術者集団大阪支部の中西晃氏を講師にこの改訂案の検討が行われた。

そこで中西氏は、市議会で市庁舎移転条例が否決されたにもかかわらず、市役所移転を前提とした計画の改訂を行うのはおかしいと指摘。計

画も、第②街区の駅前市街地再開発エリアに南東側にある公園五〇〇〇㎡を取り込むよう街区設計を変更した点、事業費も大幅に増額され、枚方市負担もさらに増やされることが明らかにされた。中西氏が紹介された絵(上図)では、まさに枚方市駅前が超高層とタワマンビル群となるような風景となる。

大阪市からの出席者は、枚方市駅の良さに、駅前に公園があり山が見える風景があげられると発言されていたが、将来想定絵はそれが大きく損なわれることが示されていた。

いったい誰のための開発なのか、出席者の発言からもさまざまな疑義が出された。いろいろな団体からの声でも、市民のさまざまな生活にかかわる要求実現にこの無謀な計画が壁となり、前に進まない、市民の暮らしが守られない様が浮き彫りにされた。この三月末から始まるパブリックコメントではみんなで積極的に意見を出すことを申し合わせて散会した。(三月一八日、編集部)